

## 岡山県金融経済動向

### 1. 概況

- 県内景気は、悪化している。
- すなわち、最終需要面をみると、輸出が大幅に減少しているほか、個人消費も一段と弱まっている。また、住宅投資、公共投資は低調に推移しており、設備投資も減少している。こうした中、地場企業の企業収益は足もと減益幅を一段と拡大しており、景況感も急速に悪化している。
- 県内主要製造業の生産は、極めて低水準で推移している。  
雇用・所得環境をみると、労働需給が一段と緩和する中で、雇用者所得は弱含んでいる。

### 2. 実体経済

#### (1) 個人消費

- 個人消費は一段と弱まっている。  
すなわち、2月の販売動向をみると、百貨店売上高は、衣料品や身の回り品が落ち込んだほか、前年同月に一部店舗で催事を実施していた反動もあって、6か月連続で前年を下回った。スーパー売上高も、全般的に不振であったことから、前年を下回った。また、乗用車販売では、全般的に需要が低迷していることから、7か月連続で前年を下回った。このほか、旅行取扱高は、国内旅行、海外旅行ともに低調であったことから前年を下回り、主要観光地への入り込みも、低調に推移している。  
この間、家電販売では、このところ増勢が鈍化している。

## (2) 設備投資

- 県内企業の設備投資は、減少している。

すなわち、21/3月短観調査における20年度の設備投資計画（地場・出先企業計）をみると、製造業が、食料品、一般機械を中心に増加計画となっているほか、非製造業でも、電気・ガス、小売、運輸を中心に増加計画となっていることから、全産業ベースでは、前年を幾分上回る計画となっている。しかしながら、前回調査（20/12月調査）と比較すると、製造業で大幅な下方修正となったため、全産業ベースでも下方修正となった。

また、21年度の設備投資計画をみると、製造業では、素材業種が大規模定期修理を予定している石油・石炭製品を中心に増加計画にあるものの、加工業種が電気機械、一般機械を中心に大幅な減少計画となっているため、全体でも前年を幾分下回る計画となっている。また、非製造業でも、電気・ガス、小売、運輸などを中心に減少計画となっている。この結果、全産業ベースでは、前年を1割弱下回る計画となっている。

建設投資の先行指標である着工建築物床面積（非居住用<1~2月>）は、前年を上回っている。

## (3) 住宅投資

- 住宅投資は、低調に推移している。

2月の県内新設住宅着工戸数をみると、マンションは前年を上回ったものの、持家、貸家が前年を下回ったため、全体でも前年を下回った。

## (4) 公共投資

- 公共投資は、低調に推移している。

発注の動きを示す県内公共工事保証請負額をみると、2月は、「国」、「独立行政法人等」、「その他の公共的団体」で前年を上回ったものの、「県」、「市町村」が前年を下回ったため、全体では前年を下回った。

## (5) 輸 出

- 輸出は、大幅に減少している。

2月の県内輸出（通関実績）をみると、アジア、西欧、中東向けを中心に前年を大幅に下回った。

## (6) 生産・出荷・在庫

- 1月の県内鉱工業生産指数（直近計数）の季調済前月比は、輸送機械、鉄鋼、電子部品・デバイスを中心に低下したことから、全体では4か月連続の低下となった。

この間、出荷指数（季調済前月比）は、輸送機械、電子部品・デバイス、鉄鋼を中心に低下したことから、全体では5か月連続の低下となった。また、在庫指数（前年同月比）は、輸送機械、鉄鋼、電気機械を中心に低下したことから、全体では2か月連続の低下となった。

- 県内主要製造業の最近の生産動向（10業種、付表参照）をみると、造船は、豊富な受注残を背景に高操業を継続している。また、石油化学は、一部の先で定期修理を控えた在庫積み増しを実施しているため、生産が幾分持ち直している。一方、工作機械は、生産が減少しており、石油精製は、一部の先で大規模定期修理を実施しているため、生産水準が大幅に低下している。また、自動車、鉄鋼、電気機械は、内外需要の落ち込みを背景に、極めて低水準の生産を続けている。このほか、繊維、耐火物は、低水準の生産が続いている。この間、農機具は、底堅く推移している。

## (7) 雇用・所得

- 労働需給面をみると、2月の有効求人倍率は、新規求人数の減少や新規求職者数の増加から、低下を続けている。また、所定外労働時間も、前年を下回っている。この間、雇用面では、2月の解雇者数は前月に続き高水準となっており、雇用保険受給者数も増加している。

こうしたことから、雇用者所得は、弱含んでいる。

## (8) 物 価

- 2月の岡山市消費者物価指数（平成17年基準、生鮮食品を除くベース）は、交通通信、教養娯楽などが前年を下回っているため、全体では僅かながらも前年比マイナスとなっている。

### (9) 企業倒産

- 2月の県内企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額10百万円以上）をみると、倒産件数は前年を下回ったが、負債総額は前年を上回った。

## 3. 金 融

### (1) 実質預金等

- 2月の県内実質預金をみると、個人預金、法人預金の前年比プラス幅が拡大したほか、公金預金の前年比マイナス幅が縮小したことから、実質預金全体の伸び率は上昇した。

なお、地元10行庫の預かり資産をみると、市況悪化の影響から投資信託の残高が前年比マイナスとなっているものの、保険商品は引き続き高い伸び率となっている。

### (2) 貸 出

- 2月の県内貸出をみると、個人向け、地公体向けが前年比プラス幅を縮小させたものの、企業向けが前年比プラス幅を拡大させたことから、貸出全体の伸び率は上昇した。

### (3) 貸出約定平均金利

- 2月の新規貸出約定平均金利（総合ベース）、ストック金利（同）ともに前月比低下した。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。

〒 700-8707 岡山市北区丸の内1-6-1 日本銀行岡山支店 総務課

TEL 086-227-5111（代表）

FAX 086-227-6350

ホームページアドレス <http://www3.boj.or.jp/okayama/>

(付 表)

## 主 要 製 造 業 の 生 産 動 向

| 業 種   | 足 も と の 動 向  |
|-------|--|
| 自 動 車 | 海外需要の落ち込みを背景に、極めて低水準の生産が続いている。<br>輸出向け生産が、海外需要の落ち込みを背景に、極めて低水準の生産を続けているほか、国内向け生産も、消費者マインドの悪化を背景に、落ち込んでいる。こうした中、部品メーカーなどの県内関連先についても、極めて低水準の生産が続いている。  |
| 造 船   | 豊富な受注残を背景に、高操業が続いている。<br>造船部門では、外航船を中心に豊富な受注残を抱えており、高操業を続けている。また、非造船部門でも、中・小型船舶向けディーゼルエンジンの生産が高操業を続けている。   |
| 石油精製  | 一部の先で大規模定期修理を実施しているため、原油処理量は、大幅に低下している。<br>製品別の需要動向をみると、ガソリンは、持ち直しの動きがみられていたが、足もとでは一服している。軽油は、物流の停滞から国内需要が減少しているほか、海外需要にも弱めの動きがみられている。灯油留分は、灯油が燃料転換の進捗と暖冬の影響から需要が伸び悩んだほか、ジェット燃料は、内外需要に弱めの動きがみられる。また、重油は、減少傾向にある。             |
| 石油化学  | 一部の先で定期修理を控えた在庫積み増しを実施しているため、生産が幾分持ち直している。<br>製品別の需要動向をみると、ポリエチレンは、低迷している。プロピレンでも、自動車向けを中心に弱さがみられている。一方、スチレンモノマー、ポリスチレンは、海外需要に幾分持ち直しの動きがみられている。  |
| 鉄 鋼   | 粗鋼生産量は、極めて低水準で推移している。<br>製品別の動向をみると、薄板類は、自動車・家電向けで需要が落ち込んでいるため、極めて低い生産水準となっている。厚板類は、造船メーカー向けを中心に需要が堅調に推移しており、高水準の生産を続けている。形鋼類は、内外ともに需要が減少しており、低水準の生産となっている。棒鋼類は、自動車・建設向けで需要が落ち込んでいるため、全体としては低い生産水準となっている。                    |
| 耐 火 物 | 鉄鋼向け需要の落ち込みを背景に、低水準の生産が続いている。<br>大手メーカーでは、主力取引先である鉄鋼メーカーの減産の影響から、低水準の生産となっている。また、中小メーカーでも、安価輸入品との競合が続く中、在庫調整のため、低水準の生産となっている。  |
| 電気機械  | 携帯電話向け部品などの落ち込みを背景に、極めて低水準の生産を続けている。<br>製品別にみると、電子部品は、一部の先で在庫調整が進捗しつつあるものの、総じてみると、携帯電話など全ての最終製品向けで極めて低水準の生産を続けている。スイッチでも、携帯電話向けで極めて低水準の生産を続けている。また、デジタルビデオカメラは、足もとで卒業・入学シーズンに向けた新製品の作り込みを行っているものの、海外需要の落ち込みを背景に、生産量は伸び悩んでいる。 |
| 織 維   | 全体としては低水準の生産が続いている。<br>製品別にみると、綿織物、合繊織物、ジーンズは、安価輸入品との競合などから、生産量は減少している。また、作業服は、主要顧客である建設業の業況悪化や海外拠点への生産シフトを背景に、低調な生産が続いている。一方、学生服は、少子化の影響によって市場は長期的には縮小傾向にあるものの、足もとの需要は安定しており、生産水準は横ばいとなっている。                                |
| 工作機械  | 自動車関連需要の落ち込みなどを背景に、減少している。<br>NC旋盤、MC（マシニングセンター）ともに、自動車関連、一般機械関連の新規受注が減少しているため、生産水準を引き下げている。   |
| 農 機 具 | 底堅く推移している。<br>製品別にみると、コンバインは、前年に生産調整を実施し、ほぼ適正な在庫水準になっていることもあって、底堅く推移している。また、携帯用刈払機では、先行きについて慎重な見方があるものの、一部の先で豪州を中心とした海外向けが増加しているため、全体の生産は底堅く推移している。  |